

第 27 回 相模湾ヨットフェスティバルレース 2024 帆走指示書 (Sailing Instructions)

【開催日】 2024 年 8 月 24 日 (土)

【開催地】 相模湾小網代沖から城ヶ島南西沖ブイ、秋谷沖周辺

【主催】 (公財) 日本セーリング連盟 加盟団体 JSAF 外洋三崎

【運営】 第 27 回 相模湾ヨットフェスティバルレース実行委員会

本帆走指示書 (Sailing Instructions : SI) の略語表記の意味

[NP] : この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a)を変更している。

[DP] : その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会が裁量により、失格より軽減することができることを意味する。RRS 第 2 章以外の軽微な規則違反またはプロテスト委員会を納得させる事由がある規則違反も該当する。

[SP] : レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。

これらの違反に関連するペナルティーについては、本帆走指示書に記載される。

標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。

これは規則 63.1、A5 及び A10 を変更している

1 規則

- 1.1 本レースには、『セーリング競技規則 2021-2024 (RRS) 』に定義された規則が適用される。
- 1.2 ORC Rating Systems2024 が適用されるが、以下を変更する。
ORC 規則 201.2 を変更し、搭載する飲料物・燃料の量を制限しない。
- 1.3 IRC 規則 2024 Part A,B および C が適用されるが、以下を変更する。
IRC 規則 2024、22.4.2 は適用しない。したがって、クルー重量制限は適用されない。
- 1.4 外洋特別規定 2023-2024 付則 B インショアレース用特別規定および OSR 国内規定。

2 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、SI 3「選手とのコミュニケーション」に準じて行う。

3 選手とのコミュニケーション

3.1 オンライン公式掲示板

公式掲示板(WEB) : URL : <https://yacht-race.jp/syf/document.html>

3.2 レース本部設置場所

所在地 : 三崎マリン (神奈川県三浦市三崎町小網代 1003 番地 6) 2F

期間 : 2024 年 8 月 24 日 (土) 07:00 ~11:00

但し、11:00~17:00 の間は三崎フィッシャリーナ・ウォーフ「うらり」2F に移動する。

3.3 連絡先

- ① 電話 : 090-2341-3140
- ② メールアドレス : syf@misaki-ocean.jp
- ③ その他通信設備 : 国際 VHF72ch を常時ワッチしている。

3.4 レース当日、8時からレース終了までの帆走に関わる通告は、海上で行う。

3.5 通告を海上で行う場合は、本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。

3.6 参加者とレース委員会間の通信手段は、携帯電話とする。

3.7 レース中の艇の通信制限は行わない。但し、RRS41 を変更するものではない。

4 [DP]行動規範

競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

レース運営に関する信号は陸上のレース本部では発しない。

6 レース日程

8月24日(土) 09:55 ORC-Cクラス、IRCクラスの予告信号

8月24日(土) 10:10 オープンクラスの予告信号

8月24日(土) 15:00 全クラスのタイムリミット

7 クラス旗

7.1 以下の3クラスを設ける。

- ① IRCクラス
- ② ORC-Cクラス
- ③ オープンクラス

各クラスとも参加艇数によりグループ分けを行う場合がある。

7.2 [DP] [NP]クラス識別旗

- ① IRCクラス : JSAF 外洋レース旗
- ② ORC-Cクラス : JSAF 外洋レース旗
- ③ オープンクラス : イエロー

7.3 [DP]リコールナンバー

セールナンバーの無い艇及び JSAF に登録されているセールナンバーと異なるセールナンバーを使用する艇については、リコールナンバーをバウパルピット付近の両舷に付けなくてはならない。

7.4 オープンクラス識別リボン、リコールナンバー（必要な場合）は、郵送する。

郵送先住所／氏名は、提出書類 出艇申告書（別紙②）に記載すること。

7.5 [DP]クラス識別旗はチェックイン時からフィニッシュまたはリタイアするまでデッキより1.5m以上の高さになるようにバックステイに掲揚すること。バックステイの無い艇は、同等と思われる位置に掲揚すること。

8 レース・エリア

本帆走指示書（別紙①）にレース・エリアのおおよその位置を示す。

9 コース

艇の帆走すべきコースは次のとおりとする。

IRC/ORC クラス

スタート ⇒ 浮き相模 1 号左に見て ⇒ 城ヶ島南西ブイ左に見て ⇒
網代崎灯浮標(赤白)右に見て ⇒ フィニッシュ

オープンクラス

スタート ⇒ 浮き相模 1 号左に見て ⇒ 網代崎灯浮標(赤白)右に見て ⇒ フィニッシュ

※相模 1 号：北緯 35 度 7 分、東経 139 度 27 分 付近

10 マーク

スタートマークとフィニッシュマークは、黄色円筒形マークを用いる。

11 [SP]チェックイン

参加艇は、09:40 までに、L 旗を掲揚した本部艇後方から本部艇をスターボードに見て機帆走
もしくは機走で通過し、セールナンバーを掲示し、艇名・乗員数を告げること。

本規定に違反した艇は、5 分をレース所要時間に加算する。

12 スタート

12.1 スタート信号

スタートは、RRS26 に従い、次の a) および b) の 2 回に分けて行われる。

a) ORC-C クラス、IRC クラス

- ・10 分前以前 : オレンジ旗（スタートライン旗）掲揚（音響 1 声）
- ・5 分前/予告信号 : 外洋三崎バージ旗を掲揚（音響 1 声）
- ・4 分前/準備信号 : 準備信号旗の掲揚（音響 1 声）
- ・1 分前 : 準備信号旗の降下（長音 1 声）
- ・スタート : 外洋三崎バージ旗降下（音響 1 声）

b) オープンクラス

- ・5 分前/予告信号 : クラス旗としてイエロー旗を掲揚（音響 1 声）
- ・4 分前/準備信号 : 準備信号旗の掲揚（音響 1 声）
- ・1 分前 : 準備信号旗の降下（長音 1 声）
- ・スタート : イエロー旗降下と音響信号 1 声（音響 1 声）

12.2 スタート・ライン

スターボード・エンドとなる本部艇のオレンジ旗を掲揚したマストもしくはポールと、ポート・エンドの
スタートマークの間とする。

12.3 当該クラスのスタート信号後 10 分以内にスタートしなかった艇は、DNS とする。

(RRS A4 を変更)

13 **フィニッシュ**

フィニッシュ・ラインは、本部船上の青色旗を掲揚したマストまたはポールと、フィニッシュマークのコース側の間とする。

14 **コースの短縮**

14.1 コースの短縮は、回航マークにて行われる。運営艇に S 旗を掲揚し、音響信号（2 音）を発して通告する。

この場合、レース艇は S 旗を掲揚したマストもしくはポールと回航マークの間でフィニッシュすること。

14.2 コース短縮の運営艇は、錨泊していない場合もある。

15 **ペナルティー方式**

RRS44.1 を変更し、『2 回転ペナルティー』を『1 回転ペナルティー』に置き換える。

16 **レース・タイム・リミット**

8 月 24 日(土) 15:00 とする。

レース・タイム・リミットまでにフィニッシュできなかった艇は審問なしに DNF とする。(RRS35、A4、A5 の変更)

17 **審問要求**

17.1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該艇に対して伝える（赤色旗の掲揚を含む）と共にフィニッシュ時にその意思と相手艇名を本部船（コース短縮の場合は S 旗を掲揚した運営船）に告げ、自艇のフィニッシュ後 1 時間以内に所定の審問要求書をレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。

なお、プロテスト委員会は、もっともな理由がある場合には、その時刻を延長する場合もある。

リタイア艇については、本部船への伝達は省略することを許され、リタイア後 1 時間以内に審問要求書をレース本部に提出するものとする。

17.2 救済の要求は、所定の審問要求書にその旨を記入し、自艇のフィニッシュ後（リタイア艇については、リタイア後）1 時間以内にレース本部にメールにて提出すること。提出はメール送信或いは持参のいずれでも構わない。

17.3 審問は原則、対面で開催されるがリモート会議ツールによる参加も可能とする。

開始の時間、場所、会議 URL については公式掲示板(WEB)に掲示される。加えて、必要に応じて当事者に電話連絡する場合がある。

18 得点

- 18.1 IRC クラス：IRC 規則 2024 に基づき、TCC によるタイムオンタイムにより計算する。
CT で同順位の艇がある場合は、TCC の数値が小さい方の艇を上位とする。
- 18.2 ORC-C クラス：艇の所要時間に Time-on-Time All Purpose 係数を所要時間にかかけ、その修正時間が低い艇を上位とする。
修正時間が同一の場合には、Time-on-Time All Purpose 小さい方の艇を上位とする。
- 18.3 オープンクラス：レース委員会が設定したレーティング方法により順位を算出する。
修正時間が同一の場合には、レーティングの低い艇を上位とする

19 レースの成立

各クラスともに、1 艇以上のレース・タイム・リミット内フィニッシュをもって、レース成立とする

20 レースの中止

悪天候などやむを得ない事情により事前にレースを中止する場合は、レース前日の 18:00 迄にレース委員会が判断し、その通知を外洋三崎ホームページおよび本帆走指示書 3 項の公式掲示板に告知する。

悪天候予想の際は外洋三崎ホームページにて開催の有無を確認することを推奨する。

(JSAF 外洋三崎ホームページ：<http://www.jsaf.or.jp/misaki/>)

尚、レースを中止した場合も表彰式に換えて親睦パーティーを開催し、抽選会等を行う。

21 安全規定

- 21.1 船舶検査に基づいた装備、備品に加え携帯電話を 1 台以上、可能であれば国際 VHF 送受信機を搭載していること。
- 21.2 出艇申告書を提出し、スタートしない艇またはリタイアした艇は、その旨をレース本部に直ちに連絡しなければならない。
- 21.3 海上においてレースが中止になった場合には、帰港後、レース本部に直ちに帰着申告をしなければならない。
- 21.4 事故報告
人員の負傷、落水、重大な船体やマストなどの損傷を伴う、衝突、座礁、破損などがあった場合、抗議救済の要求の有無に関わらず、日時、場所、関係艇、関係者名、事故状況、連絡先などを記載した事故報告書をメールもしくは書面で、当該艇の責任者がレース本部まで提出すること。
- 21.5 レース参加申込書に記載された携帯電話に加え、予備を搭載することが望ましい。また、充電機能や防水対策についても考慮されたい。ただし緊急時は連絡手段を問わない。

22 インспекション

事前のインспекションは行わない。フィニッシュ後の適切なときにレース委員長の判断により、

フィニッシュした全艇または任意に選択した艇に対して実施されることがある。

23 運営に用いる船

本部船：「アルカンシェルⅢ」（オセアニス 321）、32feet ヨット、船体色：白色
外洋三崎大クラブ旗を掲揚する。

運営船：・プリンセスⅡ（油壺ヨットハーバー）、インフレタブル、船体色：グレー、
・「ODIN」（ヤマハ 33S）（予定）※
※外洋三崎クラブ旗を掲揚する。

24 [DP]支援者船

24.1 支援者船の使用については予めレース委員会に申告し、レース委員会より渡されたホワイトのリボンの標識を付けなければならない。

24.2 支援者船はレース中の艇を妨害してはならない。

25 賞・表彰式

- 25.1
- ・IRC クラス : ファーストホーム賞
各グループ : 優勝、2 位、3 位
 - ・ORC-C クラス : ファーストホーム賞
優勝、2 位、3 位
各グループ : 優勝、2 位、3 位
 - ・オープンクラス : ファーストホーム賞
各グループ : 優勝、2 位、3 位

※参加艇数によって変更する場合がある。

25.2 表彰式

日時 : 2024 年 8 月 24 日 (土) 開宴 17:00 (開場 16:30)

会場 : 三崎フィッシャリーナ・ウオーフ「うらり」2F

(三浦市三崎港) <http://www.umigyo.co.jp/access.html>

26 リスク・ステートメント

26.1 RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者・支援者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大、COVID-19 感染などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

26.2 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。

26.3 本レースにおいて、主催、運営、共同主催、後援、協力、協賛に関する各団体等は、レースの前後、期間中に生じた物理的損害または身体的障害もしくは死亡による責任を負わない。

- 26.4 艇と乗組員の安全確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を最良の状態で、十分な耐候性を有するように保持し、あらゆる状況下においてもそれに対応できる経験豊富な乗組員を乗船させよう万全を尽くさなければならない。
- 26.5 オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよびその他すべての備品を確実に装備し、安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をすべての乗組員に熟知させておかなければならない。
- 26.6 オーナーおよび艇長は上記内容を乗組員全員に周知徹底させる責任がある。
- 26.7 レース委員会は、不相当と認めた艇、および艇長・乗員の参加を拒否することができる。

27 保険

参加艇は、以下の付保範囲を持つ有効な保険に加入していなければならない。

- ① 賠償責任保険
- ② 必要な人数分の搭乗者傷害保険
- ③ 捜索救助費用保険

28 問い合わせ

28.1 問い合わせ方法

- ① E-mail のみでの対応とする。
- ② 問い合わせ・質問を行う場合、艇名・質問者氏名・日付を明記し、出来るだけ箇条書きで行うこと。

※問い合わせ・質問の内容と回答は各艇連絡責任者に、Eメールにて開示することがある。

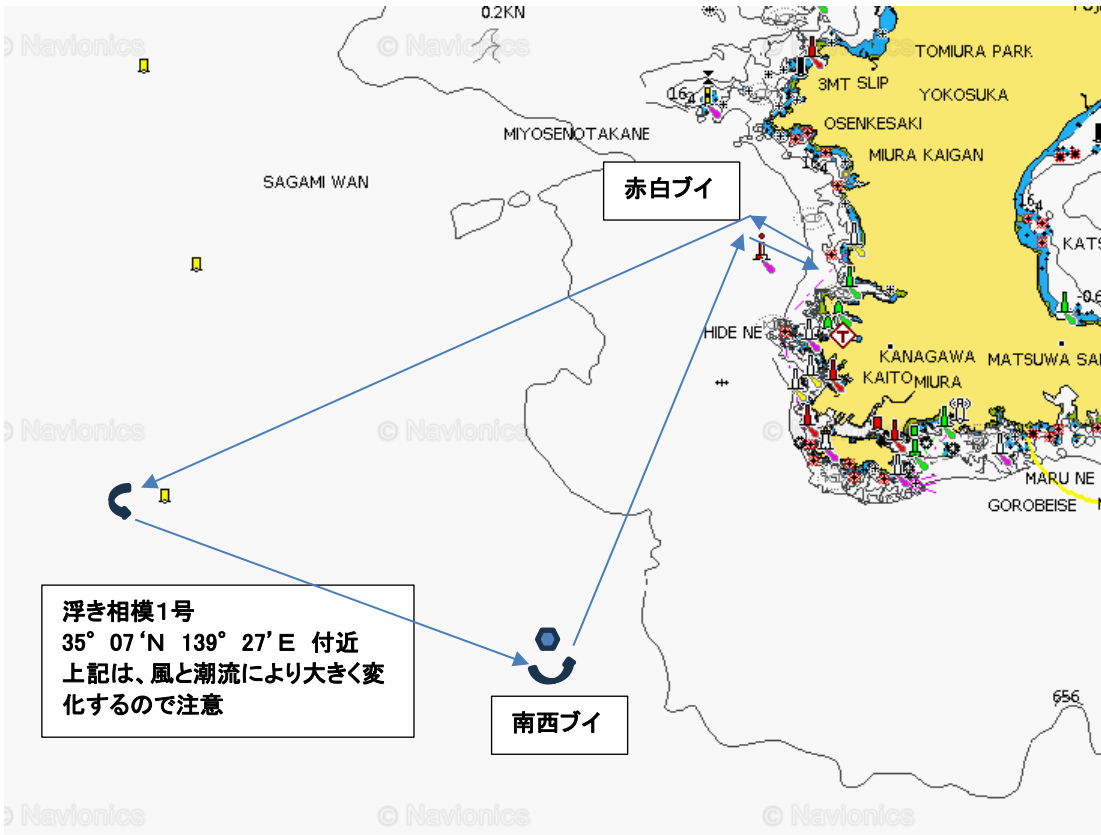
28.2 問い合わせ先

- ① 質問 受付： syf@misaki-ocean.jp
- ② 回答 WEB サイト： <https://syf.yacht race.jp/kaitou.html>

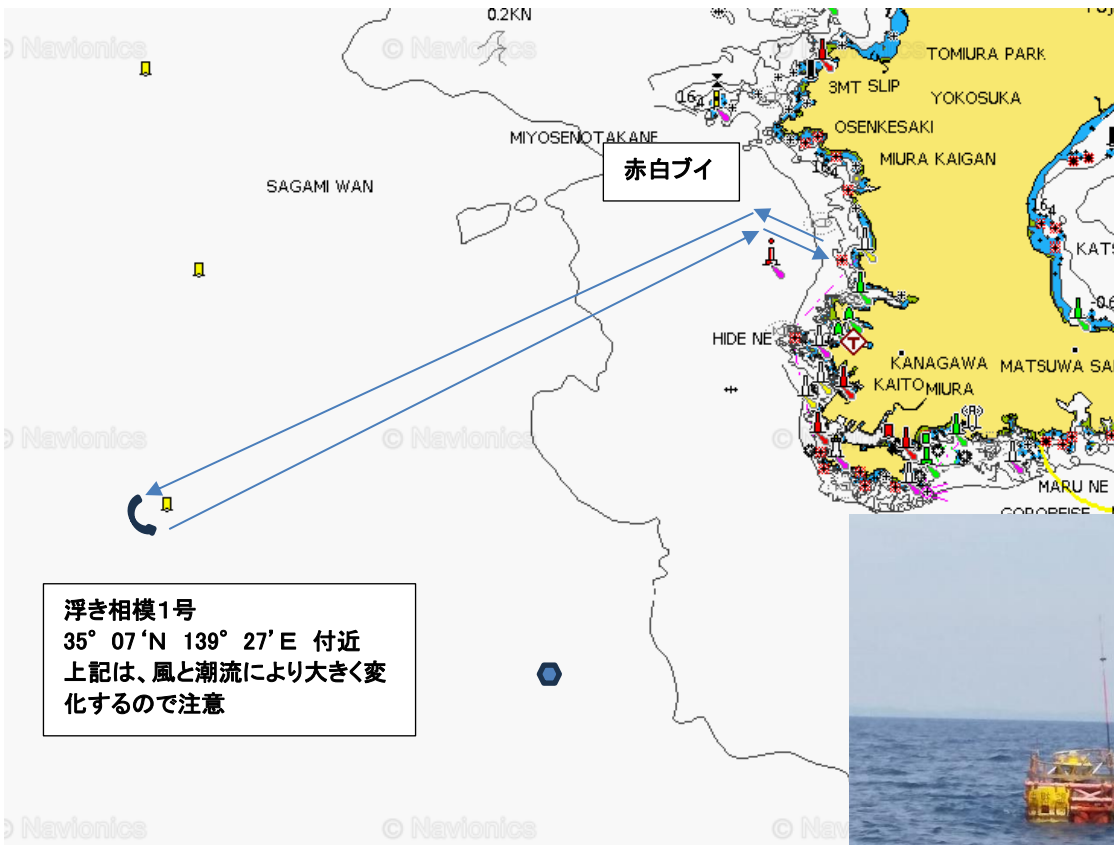
以上

別紙-1 コース図

IRC、ORCクラス



オープンクラス



浮き相模1号の形状

